

交流の扉

第21号

平成23年3月
発行：伊万里市国際交流協会

平成22(2010)年度 伊万里市内の国際交流の動き

7月

- ・伊万里市国際交流協会総会 (7.2)

8月

- ・日韓親善少年剣道交流会を開催 (8.6~9)

韓国釜山市の少年剣道交流団を受け入れ、剣道・ホームステイ交流を行った。小中学生及び指導者等73人が来伊
(伊万里市剣道少年団)

- ・多文化交流事業
「草履づくりと大川町史跡見学!」開催 (8.8)

市内在住外国人及び市民等36人が参加

- ・「初級韓国語教室」開講 (8.24~)

講師：ユ・ファジュン 華濬 氏

夜24回 受講生23人



9月

- ・「国際交流ひろば」開催 (9.11)

小中学生等50人が参加、お国料理と文化の紹介、ゲーム等で交流 講師：イギリス、オーストラリア

10月

- ・ポルトガル大使夫妻が来伊 (10.8)

古伊万里と現代伊万里焼について視察



11月

- ・中国大連海事大学「伊万里文化伝承協調事業」へ講師派遣 (11.28~12.2)

大川内山の陶芸家等3人を派遣。陶芸教室の開催、「伊万里焼」常設展示室の設置 (伊万里・アジアネットワーク事業)

12月

- ・「民際交流の夕べ」開催 (12.5)

市内外の在住外国人との交流会に市民等43人が参加 (いまりSGG)



- ・多文化交流事業
「餃子とPizzaとお国ことばの集い!」開催 (12.12)

市内在住外国人及び市民等44人が参加

1月

- ・講演会「論語に学ぼう より良い生き方」開催 (1.30)

市民等29人が参加 (伊万里市日中友好協会)

2月

- ・中国大連市より公務研修生 何慶海氏 来伊

(2.16~1年間)



多文化交流事業(多文化共生社会の実現に向けた取り組み)

伊万里市には、384人(2010年末)の外国籍の人が住んでおられます。この10年間で在留外国人の数が1.5倍に増加し、身近な生活圏でも国際化が進んでいます。

日本語が十分に話せない外国人は、独居老人や高齢者世帯などと同じく社会の情報から取り残されやすいため生活弱者といえるかもしれません。今、地域の中で孤立する外国人をなくし、自分たちもまた「心の国境」を作ることのないよう地域に住む外国籍の人々とさまざまなスタイルで交流し、共生の輪を広げていきたいものです。

伊万里市国際交流協会は、外国の文化、日本の文化をお互いに理解しあうためのきっかけづくりとして、多文化交流事業を開催しました。

「草履づくりと大川町史跡見学!」

8月8日(日)、大川町コミュニティセンターで、中国・香港・インドネシア・オーストラリア等、外国籍の住民12人と協会員、大川町の住民等が交流を行いました。布地の草履と手打ちうどんを作り、「大黒井堰歴史ふれあい広場」を見学しました。



「餃子とPizzaとお国ことばの集い!」

12月12日(日)、立花公民館で、中国・イギリス・カナダ・アメリカ等、外国籍の住民9人と協会員、立花地区の自治公民館長等が交流を行いました。皮から餃子を作り、生地から作ったPizzaを石窯で焼いたほか、母国語と方言での「イソップ童話」の読み語りや、「やさしい日本語」について学びました。



大連海事大学における日本文化伝承事業と伊万里焼展示

※今回、講師として大川内山より陶芸家、小笠原博さんと川副史郎さんを派遣(伊万里・アジアネットワーク事業)

11月28日から12月2日までの5日間、大連市へ行って来ました。大学での講義は3日間と短い日程だったため、座学を中心とした講義を進めようと資料を準備して行きましたが、プロジェクターの調子が悪くて使えず、大川内山の中国語パンフレットを教材としてスタートしました。実技の道具は何も持って行かなかったためどうしようかと思いつつも、川副君の土こねと私のろくろ実演とで何とか一日目を終わらせることができました。二日目は、日本の食文化の講義で、寿司文化についてビデオを見せながら授業を進めて行きました。学生からは多くの質問が出され、楽しく講義を終わらせることができました。その日は講義がお昼の12時からだったため、海事大陶芸講師の趙先生に、手作りの巻寿司とリングをご馳走になりました。三日目は、焼物の展示ということで、10時から作業に入り、展示ケース4台に作品

を飾りつけ、パネルを置き、その後、伊万里市が寄贈したガス窯のサビを落として耐熱塗料をぬり直しました。まるで新品のようになったと好評でした。

今回強く感じたのは、何しろ学生が一生懸命勉強していること、日本に対して大変興味を持っていることです。3日間でしたが充実した派遣事業だったと思います。二年ぶりの大連でしたが、都市のインフラがハイスピードで進み、来年には地下鉄が開通するそうです。日本企業のユニクロやイケアなど、大型店も着々と建設され、ビッグマーケットとしての中国が構築されています。大連空港は国際線のスポットを増やすための工事が始まっており、ますます国際化に向けた玄関口の整備も進んでいるようです。

<長春窯 小笠原 博さん (大川内山)>



「国際交流ひろば」

9月11日(土)、恒例の「国際交流ひろば」が市民センターで開催されました。「いっしょに作ろう、世界の料理!」と題して募集をしたところ、小中学生合わせて30人の参加がありました。

講師はイギリス出身のニック・ケインさんとオーストラリア出身のトレーシー・スイフト・塚本さんにお願しました。ニックさんにはアップル・クランブルとバブル・アンド・スクイクの2品を、トレーシーさんにはチョコレート・クラックルとハワイアン・ピザの2品をそれぞれ独自の家庭料理として教えていただきました。

子どもたちは国別のグループに分かれて、初めて作る料理に挑戦しました。地域婦人連絡協議会、国際ソロプチミスト伊万里、いまりSGG、子ども会連合会など会員スタッフの方々の援助を受けながら、2時間程度で美味しい料理が出来上がり、皆で配膳していただきました。

会食後は講師の方の国の紹介を聞いたり、歌を歌った

り、ゲームをしたり、ダンスをしたりと楽しいひと時を過ごしました。最初は引っ込みがちだった子どもたちでしたが、慣れるにしたがって元気に活動に取り組んでいました。閉会の時に感想をたずねると、「参加してよかった」と答えた子どもたちばかりでした。

伊万里市には多くの外国の方が住んでいらっしゃいますが、今回のような触れ合いをする機会はほとんどないのではないのでしょうか。「これからは国際化社会の時代だ」とずいぶん以前から言われ、実際、経済界では既に国際化が急激に進んでいます。近所をよく見渡せば、外国の方が身近に住んでおられるかもしれません。そういう方々と自然に近所づきあいができるようになるため、今後も「国際交流ひろば」が役に立っていくことを願っています。

<運営委員会座長 山下 三男(伊万里市立青嶺中学校 校長)>



「オラ!セニョーラ・セニョリータ!」伊万里の皆さんこんにちは。大川町の農家、鶴田善久です。2010年3月より南米ボリビアにて青年海外協力隊として、ボリビアの小規模農家を対象に野菜栽培技術指導を行っています。

エケコ人形やウユニ塩原、リチウム資源が有名になったおかげで最近になって名前が売れ始めたボリビア。日本の3倍の国土面積を持ち、多民族国家とよばれるボリビアが持つ顔は地域によって多様です。私の任地は亜熱帯アマゾン地域にあり、某有名デパートで1万円するマンゴーが道端に転がっている南国で、妖艶な美女が下着のような薄着で町を歩いているラテンの国です。

そんなボリビアでの生活は地元伊万里での生活とまったく違い、間もなく1年になろうとしているにも関わらず毎日が新鮮です。過ぎ去っていく日々がとても早いのに、そのひとつひとつの時間はとてもゆったりとしていて、大雑把。そこで暮らす人々は時間などにはしぼられず、仕事にもしぼられず、日本人の感覚から見れば責任感もやる気もない人ばかりですが、ここではその非常識こそが常識であるためか、だれも不満なく生活しています。

私が住んでいるサンタクルス県サンファン市は特殊な町だと言えます。日系移民の町としてスタートしたこの町には現在800人ほどの日系人が住んでいて、当たり前のように日本語が通じます。多くの方が九州出身で、佐賀出身の方もいらっしゃいます。もちろんここでも時間はゆっくりと流れていますが、そこは日本人社会、責任感とやる気の高い彼らは大成功をおさめ、故郷日本で暮らす人々より裕福な生活を送っています。



私の仕事は、サンファン中心部より30kmほど離れたいくつかの村落において、農業指導を行うことです。そこで暮らす人々は裕福な日系人とは違い貧しく、定職を持っている人であっても1日の収入は600円程度です。人々は我々の協力を必要としています。裕福な国である日本が貧しい国を救うという気持ちでは、この活動を続けることはできません。同じ目線で共に生活し、お互い協力し合いながら日々活動しています。

ボリビアの発展に尽くすとともに自身の成長をもはかり、その経験を帰国後伊万里の役に立てることが今の私の願いです。

＜南米ボリビア在住(大川町)鶴田 善久さん＞



中央が筆者

☆伊万里市国際交流協会とは (Imari international exchange society)



設立:平成元年(1989年)3月に市内の主な事業所・市民団体で設立

主な目的:伊万里市と世界の関係都市との間で、産業をはじめ教育・文化・スポーツ等の交流を進め、民間での活動を広く盛んにすること

活動:目的を実現するために、協会会員が協調しながら世界に開かれたまちづくり活動に取り組んでいます。

会員一覧(34団体)

※随時会員募集中

伊万里市	社団法人 伊万里青年会議所	伊万里金融協会	社団法人 伊万里建設業協会
伊万里市議会	伊万里市観光協会	伊万里市市長会連合会	株式会社 名村造船所伊万里事業所
伊万里市教育委員会	伊万里商工会議所	伊万里市地域婦人連絡協議会	佐賀県農業協同組合
いまりSGG(善意通訳者の会)	伊万里市農業協同組合	伊万里市文化連盟	伊万里情報センター 株式会社
伊万里市日中友好協会	伊万里陶磁器工業協同組合	伊万里市子ども会連合会	NPO法人 国際協力の会MIS
伊万里ライオンズクラブ	波多津漁業協同組合	伊万里市スポーツ少年団	西松浦通運 株式会社
伊万里ロータリークラブ	伊万里旅館組合	伊万里市小中学校校長会	株式会社 SUMCO伊万里事業所
伊万里西ロータリークラブ	伊万里飲食業組合	伊万里市体育協会	
国際ソロプチミスト伊万里	伊万里機械金属工業会	社団法人 伊万里・有田地区医師会	

(順不同)